2012－2013年度
SANUMA
VOL 49

週報

佐沼ロータリークラブ

Peace through Service

奉仕を通じて平和を

2012－2013年度 国際ロータリーのテーマ

会長　遠藤光則
幹事　猪股育夫
会報　佐藤敬喜　佐々木崇
　　菅原文之　小竹秀敏
　　只野佳旦　佐藤靜市
例会場　ホテルサンシャイン佐沼　☎22－8180　FAX22－0327
例会日　毎週木曜日　12：30～13：30
事務所　ホテルサンシャイン佐沼　☎22－8180　FAX22－0327

第2396回例会　2013. 4. 18　No.38

本日の出席率

・本日の出席率　84.9%
・前回確定出席率　65%

ニコニコボックス

・遠藤光則会長　先週のお花見例会、大変お疲れ様でした。地区大会参加の方、宜しくお願い申し上げます。氏家良典委員長の国際奉仕フォーラム、楽しみに期待しています。
・熊谷敏明会員　先日の母の葬儀に際しましては、皆様にご会葬いただきありがとうございました。
・佐藤早智子様　義父の死去に際し、花輪、お焼香を賜わりありがとうございました。
・及川勝永会員　遠藤光則会長より、４月14日のワイフの誕生日にお花をいただき、ありがとうございました。おいたみかけてごめんなさい。お返しはお酒で……。ワイフは後期高齢者入りしました。
・鈴木彦太会員　氏家良典国際奉仕委員長、フォーラム担当ご苦労様です。ご活躍をご期待を申し上げます。
・菅原文之会員　氏家良典国際奉仕委員長のフォーラムに期待して。余目ＲＣ・佐沼ＲＣ友好クラブ締結調印式に参加の皆様、大変ご苦労様でした。特に「炎燃えろ、燃えろ」の面々、板について良かったネ！
・佐藤靜市会員　氏家良典国際奉仕委員長のフォーラムに期待します。先週の余目ＲＣとの懇親会・余興スタッフの皆様お疲れ様でした。
・氏家良典会員　本日の国際奉仕委員会フォーラムよろしくお願い致します。
・飯塚仁哉会員　馬力のある氏家良典会員の力強いお話につられて……。
・佐藤幸一会員　桜花爛漫の季節になりました。氏家良典委員長の国際委員会フォーラムにご期待。
・阿部賢悟会員　氏家良典会員の国際奉仕委員会フォーラム、勉強させていただきます。
・高橋義文会員　本日の国際奉仕フォーラムを楽しみに期待しております。
・布施孝之会員以下　国際奉仕委員会フォーラムに期待
　村上武彦会員　佐々木崇会員　八谷郁夫会員
　佐藤敬喜会員　伊藤俊郎会員　菅野幸一郎会員
　山田直志会員　佐竹孝行会員　岩渕正彦会員
　佐々木功一会員　小泉洋会員　高橋利光会員
　冨士原裕子会員　武川毅会員　只野佳旦会員
　岩渕栄市会員　杉田広仁会員
　以上、ありがとうございました。

会長要件　遠藤光則会長

先週のお花見移動例会に多数のご出席をいただきありがとうございました。特に親睦活動委員会の皆様、「おやじダンサーズ」はじめ、高橋利光会員、小泉洋会員の歌と踊りありがとうございました。又、翌日は宮城カントリークラブに於て、余目ＲＣ、佐沼ＲＣ各８名の会員で親睦ゴルフを実施しました。小泉洋会員が優勝、佐竹孝行会員が準優勝という成績で、ほとんど佐沼クラブで賞品をいただいてきました。２日間ほんとうにお疲れ様でした。

桜も芽がふくらみ間もなく満開になるのではないかという感じが致します。登米市は、市長選、市議選と町の中は選挙車の連呼で大変賑わっております。来る４月21日は、おそらく皆様に「さくら咲いた」の吉報を願いそれぞれ候補者が大変な思いで努力されているものと思います。21日は地区大会が二戸で開催されます。出来るだけ期日前投票をし地区大会に参加していただきたいと思います。

幹事報告　岩渕正彦副幹事

・ＲＩより
　2013年国際大会に於ける投票のための信任状と投票代議員カードが届きました。
・地区大会参加の皆様へ
　マイクロバスご利用の会員は、21日午前６時45分に出発しますので、サンシャイン佐沼にお集まり下さい。

フォーラム

・国際奉仕委員会（氏家良典委員長）

本日のフォーラムは、情報マニュアルより国際奉仕に関する部分をピックアップし資料として皆様に配布致しましたので、それに沿って進め、後で皆様からご意見をお伺いしたいと思います。

○国際奉仕

ロータリーの第４奉仕部門。ロータリアンが、国際理解、親善、平和を推進するために、実施できることすべてから成る。その方法は、他国の人々、その文化、慣習、業績、抱負、問題を知ることであり、また、旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、さらに、他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトすべてに協力することである。

○国際奉仕におけるロータリーの基本方針

奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際問題の理解と親善と平和を推進する。

自由、正義、真実、宣誓の神聖、人権尊重は、ロータリーの原則に本来備わっているものであり、また、国際平和と秩序の維持及び人類の発展に不可欠である。

国際奉仕は、概念上、次のような四つの一般的分野に分類できる

１）世界社会奉仕活動
２）国際レベルの教育的、文化的な交換活動
３）特別月間と催し
４）国際的な会合

基本方針の具体的なことは資料を参照して下さい。

○国際奉仕に関することの意見

・遠藤光則会長

私も、以前、国際奉仕委員長をやったことがありますが、あまり理解出来ていません。おそらく、国際奉仕と言うのは、国際交流、世界平和と言った活動をすることではないかと思っています。それぞれのロータリークラブが世界平和を願っておりますが、交流については姉妹クラブ、ＧＳＥ、長期・短期青少年交換等、我々が後ろ楯としてやっていくことではないかと思います。当クラブには53名の会員がいますが、私から見ますと、英語を話し外国の方々と交流をしている高橋利光会員が国際人的に思えます。私もその様になりたいなあと思いました。仙台クラブの方と話す機会があり、その時、仙台クラブでは国際奉仕委員会の今年の目標は、姉妹クラブを作りたいということで、それも交流、平和につながるのではないかと思いました。

・高橋利光会員

国際奉仕と言うと、ずっと遠くで起こっていて身近なものと思えない部分があります。その身近に感じられないというのが実状ではないかと思います。国際奉仕を一番身近に感じる方法は、海外に行ってボランティア活動に参加することではないかと思います。海外の現状を見ると自分達の現状も分かってくると思います。お客様で全部お膳立てが出来ているパッケージ旅行ではだめです。パック旅行でも中身に自由時間が結構あるところで自分の目で見ると、自分達の恵まれている点も分かるので一番良いかと思います。時間的、経済的に制約があってそれまで出来ないのであったら、その地域にいて何が国際的なものが出来るかと言いますと、地区、地区で特長がありますので、単一民族の日本と違って多民族国家は色んな国の人達で構成されていますので、考え方のベースが違います。そのベースを先ずお互いに理解することだと思います。ですから国際交流の本当の基本は相手をきちんと理解して自分も理解してもらうことが一番のポイントだと思います。この地域には外国人が結構いますので、多文化共生という意味で外国人をお客様としてとらえるのでなく一市民として一緒に生活をしていくということがここの地域として出来ることではないかと思います。

・菅野幸一郎会員

国際的に携わったことをお話します。

世界大会、過去３回参加いたしました。印象に残ったことは、ロータリアンとしての奉仕活動にポリオ撲滅運動がありますが、実際にＲＩ会長がアフリカの現地に行ってワクチンを寄与している映像を大型スクリーンで見たことです。私達のお金がこの様な形で世界的に活用されていることが分かりました。

ＧＳＥ、青少年交換等でホームスティを引き受けました。その時は、国際的だなとうれしく思いました。家庭の中で子供達も交流し、英語も覚え、とても良いことだなと思いました。

・布施孝之会員

ロータリアンは民間で、国対国の外交がない国に対しても民間外交としての役割を果すことが出来ます。身近な例で言いますと、台湾と日本は正式に国交はありませんが、我々はロータリアンはじめ民間の人達の経済等色々な面での交流は非常に盛んです。我々はとりあえず台北西門ＲＣと姉妹クラブを結んで緊密な友好関係を相互理解を深める中で進めて参りました。西門ＲＣは一つの点であって、その西門ＲＣから更にフィリピン、韓国と点で結ぶといろんな国を結ぶことが出来ます。その心と心の結び付き、交流が世界平和を推進する原動力になるのではないかという大きな夢を持って私自身ロータリー活動の一端の励みにしています。

・八谷郁夫会員

皆さんがおっしゃった様に国際的なつながりが如何に大事であるかと言うことです。今回の震災においてもアメリカと台湾から約29億円が送られてきました。こういったつながりがないとやらないし、又、やってもらえないということではないかと思います。こういった国際的なつながりを大切にしていくことが非常に大事であると思っています。

ロータリーに於いて最大の国際奉仕というのはポリオプラスです。ポリオの絶滅というのがロータリーの最大の国際奉仕と言えるのではないかと思っております。最近ロータリーの方向性として国際奉仕と言う国際という見方と、地域、地区のクラブという見方があり、重点をクラブの方におきつつあります。以前は国際というものに対して大きな力を入れて平和というものを推進してきましたが、クラブを中心とした活動をやらないと衰退するのではないかということを見るようになってきました。会員が増えているのは奉仕を受けている側の国で、奉仕をしている側のクラブ会員数はどんどん減っています。それは、あまりにも国際奉仕を重視したために自分達のイメージアップが図れていないのではないかということで、最近は少しクラブのイメージアップを図るというように方向性を変えつつあります。

財団の国際親善奨学生、ＧＳＥがなくなり、新しい形のものが出来ます。その中でクラブがどの様に自分達の地域で何をやっているかを示す方向になります。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。